

アフィエ村
そろばん教室

報告 TOSHIKO

4月のスクールホリデーは、当初の予定よりも一週間遅く始まりました。ガーナの学校行事予定は、日本と違い突然変更になるものもあり、年間行事予定どころか学期の予定は組めなく、はたまたその月に予定していたものでさえ、変更をしなくてはならないのです。ホリデーに遅く入っても、ホリデーの日数は変わりません。このホリデーの長期休みに入ると、子どもの中にはアクラの親戚の家や、地方の親戚のいる村へと行く子どもも出てきます。これは、長期休みを親戚の家で楽しむというものでは無く、家族の稼ぎ頭が収入を得るためにアフィエ村を離れるにあたり、子どもと一緒にいたりするので。過去に、このような背景で、長期休みになるとそろばん教室に来られなくなるという子どもがいました。さて、前号でお伝えした高校受験を控えているブラザー、ギルバード、ホープの3人は、スクールホリデーをどのように過ごすのでしょうか？毎年この時期のホリデーは、受験特別授業が午前中行われます。ホリデー初日の十七日は、プレ受験が行われていました。プレ受験終了後、しばらくの間、クラスメイトとアカシアの木の下で楽しそうに遊んでいた3人。中学3年生と一言ってもまだまだ子ども。やはり、そろばんの練習よりもクラスメイトと遊ぶ時間の方がいいのかな？今日はもしかしたら、このままそろばん教室には来ないかもしれない。そう感じずにはいられないほど楽しそうな姿が目に入ってきたので、3人が来るのを半ば諦めていた時に、教室にやってきたのです。しかも一度、そろばんを家に行ってしまうことでした。クラスメイトと遊ぶ時間よりも、そろばんを選んでくれたという嬉しさがこみあげて

きました。スクールホリデー中は月曜、水曜、金曜と一週間に3回、朝九時半から十二時までそろばん教室を開室します。私が学校に着くと、既に受験対策特別授業は行われている時もあれば、先生が来ていなく教室で楽しそうにおしゃべりしながら先生が来るのを待っているのです。そうした日のことでした。サイエンスの先生が来るのが遅く、そろばん教室に来て練習をする3人。しばらくして先生が来たので、授業の行われる教室にブラザーとギルバードが行こうと席を立ったのですが、ホープはそろばんを弾いていて席を立とうとしません。“先生が来たよ。行かなくてもいいの？”と聞くと頷き“ぼくは行かない”と言うのです。大切な授業に出なくてもいいのかなという私の中に生まれた不安。だけでも、この選択はホープがしたものであり、とても嬉しく思いました。その後も、この3人は受験対策授業が終わると、そろばん教室へ来てくれました。それが、そろばん教室の終わる十五分前であっても来てくれました。私は、これがずっと続けばいいなあ。この子たちが通えるのもあと僅かであるし、3級に入ったばかりのブラザーは、小点数の計算の楽しさに気づいたようだし、ホープは7級の練習プリント9回分、ギルバードは6級の練習プリント9回分、ご褒美の10回分まであと少し。頑張ってきて欲しいと願っていたのですが、4月後半の二日は特別授業が終わらず、教室に通うことはありませんでした。そろばんを始めから算数の時間がたのしくなったというブラザー。そろばんを始めてから計算するのが速くなり楽しくなったと言うブラザー。そろばん教室復活組のホープ。受験勉強は大変だけど、自分たちでそろばんの良さに気づいているのだから続けて欲しい。

